

■主な提言内容

生田原地域からの提言

公共交通を絡めた  
スタンプラリーの実施



発表 遠藤委員

広い町内をつなぐ公共交通は、高齢化が進む今後、今まで以上に重要になっていきます。

しかし、車が普及し、利用者が少なくなったことで便数が減り、不便になり、さらに利用が減るという悪循環に陥っています。なんとか公共交通の利用を増やさないと、交通弱者が住めない町になってしまいます。

この対策として、公共交通に乗って町内の観光スポット巡りをしてもらうスタンプラリーを提案します。

公共交通の利用促進とともに、町内に点在している魅力的な場所をつなげ、周遊してもらうことで経済効果を生むことが狙いです。

丸瀬布地域からの提言

道の駅まるせっぷに  
キャンピングカーを誘致

道の駅まるせっぷにキャンピングカーを誘致することを提案します。調べたところ、高規格道路の延伸で、道の駅まるせっぷの利用者が前年比40%ぐらいに減っています。

今後、この数を増やしていくための方策として、ここ11年ほどの間に倍増しているキャンピングカーにターゲットを絞ってはどうかと思います。

キャンピングカーは、中高年の方がよく利用していて、同じ場所に長期間滞在するといった傾向にあります。キャンプ愛好者同士のネットワークにより、口コミでの広がりも期待できるのでないでしょうか。

■今後の提言の取扱いについて

各まちづくり会議からいただいた提言については、町として最大限に尊重した上で、実現可能かを検討します。実現できない場合は、こういった課題があるのかを町のホームページや来年度以降のまちづくり会議にも示したいと考えています。

遠軽地域からの提言

コミュニティラジオ局の開設

地域の情報を音で伝える発信方法として、ラジオに着目し、地域ラジオ局の開設を提言します。

遠軽町には、すでに良いものや良いところがたくさんあることをみんなで再認識しました。特産品や観光資源に魅力がないのではなく、その魅力を伝える「情報」を届けることがより必要です。

町では広報紙やホームページで情報を発信していますが、お年寄りや仕事で忙しい方にはなかなか見ていただけていません。ラジオなら、家事や屋外での作業中にもつけっぱなししておく自然に情報が伝わりますし、車で移動中も聴くことができます。運営に町民参加を得ることで、地域の情報サロンとして機能し、地域コミュニティの活性化も期待できるのではないのでしょうか。

また、最近では、北朝鮮のミサイル発射問題でJアラートが注目されていますが、防災情報をいち早く届けるという効果も期待できます。



発表 平野委員

白滝地域からの提言

買い物・外食対策

白滝地域は、Aコープが閉店し、生鮮食料品を地域内で買うことができません。車を運転できる人は遠軽などで買い物できますが、できない人は移動販売車や宅配サービスを利用するしかなく、不便を感じています。

同時に市街地唯一の食堂も無くなっています。公共交通も便が少なく不便です。一方で、お店を維持するには地域の方たちが、買い物をして支える必要がありますが、これまでうまくいかなかったこともあり、町の支援が必要と考えます。



発表 大久保委員

■まちづくり会議の内容は遠軽町ホームページで

まちづくり会議の資料、会議録、提言などは遠軽町ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。

■まちづくり会議のお問い合わせ

企画課 ☎42 - 4818)までお気軽にどうぞ。

■遠軽町まちづくり会議委員

生田原地域まちづくり会議	
多賀 憲雄	遠藤 麻由
堀江 都	和田 あさみ
由利 敏之	◎舟木 廣隆
高橋 淳	大柳 清美
渡部 正騎	○杉本 一幸

遠軽地域まちづくり会議	
◎宮崎 良公	○大平 芳人
生出 竜也	竹之内 義文
村上 武志	斉藤 ひとみ
橋口 理教	藤田 琴絵
斉藤 晴行	平野 由美子

丸瀬布地域まちづくり会議	
◎柳田 友之	関 弘
管野 浩太郎	○上野 善博
谷口 寿康	須藤 奈都美
鈴木 幹雄	能正 あすか
佐竹 聡子	塘 秀克

白滝地域まちづくり会議	
岩城 健綱	○大久保 真由美
◎矢木 優	江面 陽子
山崎 幸治	古寺 博
内河 智美	中村 祥嗣
的場 秀太	今野 政男

◎会長○副会長 (順不同・敬称略)

■今年度のまちづくり会議の開催方法

今年度は、各地域まちづくり会議で1~2回会議を開催してまちづくりへの提言をまとめていただき、全体会議で発表していただきました。

生田原地域	遠軽地域	丸瀬布地域	白滝地域
8月4日 9月27日	8月7日 9月4日	8月9日 9月7日	7月31日

4地域の会議でまちづくりに対する提言のまとめ

全体会議 11月6日

各会議の代表者が提言を発表

■各地域まちづくり会議の提言項目

地域	提言項目
生田原地域	・子ども向け体験イベントの開催 ・公共交通を絡めたスタンプラリーの開催 ・湧別原野オートキャンプクロスカントリースキー大会生田原コースの創設 ・大学と連携して農業労働力を確保
遠軽地域	・コミュニティラジオ局の開設 ・保育士、介護士の待遇改善 ・全町合同運動会の開催
丸瀬布地域	・子育てがしやすい若者が定住するまちづくり(保育サービスの充実、公営住宅整備、子ども医療費の無償化) ・観光振興による地域活性化(道の駅まるせっぷにキャンピングカーを誘致、大平高原の整備と活用、大規模林道再開)
白滝地域	・人口減少・人手不足対策 ・買い物・外食対策 ・環境美化・整備

遠軽町まちづくり会議とは

平成17年の4町村合併に伴い、旧町村の区域ごとに「地域審議会」を置き、各地域の意見を新町の運営に反映してきました。この地域審議会は、10年間を区切りで廃止し、これに代わる仕組みとして、新町誕生11年目の昨年、「地域まちづくり会議」を設置しました。

この会議は、4つの地域ごとにそれぞれの地域に住んでいる、または勤めている方を10人ずつ委嘱しています。なお、現委員の任期は平成31年3月31日までとなっています。

町民の皆さんとともにまちづくりを考えます。

遠軽町

まちづくり会議

遠軽駅待合室  
机と椅子が設置されました！

白滝地域まちづくり会議で出された「駅の待合室に机があると、通学生が待ち時間に勉強できる」という意見を、JR北海道遠軽駅に伝えたとこ、同駅の配慮により、待合室に机2脚と椅子6脚が設置されました。対応していただいた同駅関係者の皆さん、ありがとうございました！

